座 談 会

機関投資家から見た経営者報酬

と き 2019年10月30日 (水)
 ところ 日本証券アナリスト協会会議室

《出席者》(敬称略、五十音順)

銭 谷 美 幸

(第一生命保険
運用企画部部長兼責任投資推進部部長)

三 橋 和 之 CMA・CIIA

(三菱UFJ信託銀行 資産運用部副部長)

《司会》

神 山 直 樹 CMA

(日興アセットマネジメント
チーフストラテジスト)

目 次

1. 経営者報酬について考える目的	4. 報酬開示のあるべき姿
2. 経営者報酬の決定方法	5. 総括とメッセージ
3. 経営者報酬決定の仕組み	

1. 経営者報酬について考える目的

神山 本日は、経営者報酬制度と報酬開示について、機関投資家がどのような問題意識を持ち、企業経営者に対してどうあってほしいと思っているのかについて、議論を通じて明らかにしていきたい。経営者報酬に関する企業不祥事が明らかになったこともあって、このところ経営者報酬制度や報酬開示への関心が高まっている。もともと、そ

もそも投資家は経営者に何を求め、報酬を支払うのかということを出発点として、報酬制度や開示方法を考えていかなければならないが、残念ながら、これまでのところ、そのような議論はほとんど見当たらない。したがって、この座談会では、経営者報酬をめぐる株主・投資家の論点を順に議論していきたい。

まず、企業を運営執行する経営者と投資家の関係にフォーカスして、経営者報酬について論じた